

一般質問



福井市長の施政方針を幹部職員 はどう実現させるか

石田 哲 議員

問 抜擢された副市長職。高島市の将来展望を見極め、市長の施政方針をどの様に展開するか。単なるイエスマンではなく提案者の立場で市政に貢献されたい。その思いを伺う。

答 副市長

経済成長と社会成長を同時に求めていくことが、これからの高島市がとるべき方向であると考えます。そして、社会成長を追求する上で重要なことは、住民自治の充実です。住民参加体制をもつて、誇りを持てるふるさとを作り上げたいと考えます。

の折衝等、大変重要且つ高島の将来を見据えた施策が求められる。歳入確保は益々厳しく、歳出要求が限りなく膨らんでいく。職責を全うする思いを伺う。

答 政策部長

厳しい状況にあっても、政策は着実に具体化しなければなりません。いずれの施策も担い手・資源・仕組みが合っただけで、実効力を持って展開されます。既存の地域資源を活かすことで、持続性が期待できると信じています。

教育の今日的課題として

問 人権尊重と社会教育の重要性について。

答 教育長

それぞれのライフサイ

クルに応じた学習の機会を用意すること、また、各団体の人権問題への取り組みが推進されるよう、支援することが求められています。

問 学力向上と教職員の精神的・時間的余裕の創造について伺う。

答 学力向上アクションプランを見直し、指導の改善や支援の充実を図っています。

また、生徒指導上の問題を担任が一人で抱え込まないよう、組織的に

問 教育委員会の審議と提案機関としての役割について伺う。

答 計画策定についても議論しており、その中で実質的な提案がされていると考えます。

問 市長部局の関与について伺う。

答 教育委員会所管の事務についても、予算編成等の財産的権限は市長に委ねられているので、常に連携しています。



高島市人権推進協議会人権研修会の様子

障がい者福祉の 充実について



秋永 安次 議員

障がいのある人もない人も普通に暮らし、地域の一人として、共に生きる社会づくりの具体的な取り組みを伺います。

問 相談支援体制の充実と連携強化は。

答 健康福祉部長

相談支援センターコンパスを開所し、支援体制の充実を図る他、高島市障がい者自立支援協議会を軸に、地域課題を研究・検討しています。

問 相談窓口の周知および広報、情報提供の充実は。

答 広報誌やホームページ等で啓発しています。

問 権利擁護支援、および、生活支援のためのサービスの実施・体制整備は。

答 「高島市災害時要援

答 各健康いきいき応援センターやコンパスをはじめとする関係機関が連携し、対応しています。

問 障がい・発達に合った教育の充実は。

答 個別の指導計画を作成し、きめ細かな指導・支援をしています。

問 雇用促進・就労支援の充実は。

答 市内従業員を増員いただいた事業所には、雇用促進奨励金を交付しています。また「働き・暮らし応援センター」が中心となり、個別支援を行うとともに、関係機関と情報を共有し、雇用機会の確保に努めています。

問 災害・緊急時の支援体制は。

答 「高島市災害時要援

一般質問

護者制度」を設け、自力避難が困難な方には登録の申請をしていただいています。

問 JR各駅のバリアフリー化は。

答 引き続き関係機関への要望を重ねてまいります。

安曇川駅周辺の再生について

問 旧平和堂の建物や地権者との交渉状況は。

答 産業経済部長

関係者と面談していますが、具体的計画は聞いていません。

問 建物所有者等に対して、執行部と議会が一体的な行動を起こすべきでは。

答 検討委員会の議論を踏まえ、そうした組織に積極的に対応して



安曇川駅前の旧平和堂店舗

児童生徒のむし歯治療費 助成を



森脇 徹 議員

問 学校保健法による歯科健診で要治療の児童生徒が4割である。その55%が未治療だ。経済的理由で行けない児童もいる。歯科通院助成を実施すべきではないか。

答 健康福祉部長

市の財政状況を見据えながら、検討を進め

問 認定基準額と支援額の引上げを。

答 就学援助は、生活保護基準額等を使って認定します。生活保護法の改正内容に注視し、必要な援助について調査・研究いたします。

妊産婦が安心できる高島市を

問 民間産院がこの秋、大津に移転。300人超の妊産婦さんに、安心の周産期医療環境が市民病院にできたか。

答 病院事務部長

市民病院での出産希望の増加が予想されますが、可能な限り受け入れできるよう体制整備を図ります。ま

親の収入が少なく、子の貧困が増えている。**問** 学校給食費や学用品の一部を支援する就学援助を申請し易く。**答** 主席教育次長

た、移転される産院や大津赤十字病院等と連携をとり、妊婦さんが安心してける環境を提供できるようにいたします。**問** 市外に通う妊産婦に通院助成を。**答** 健康福祉部長

市民病院に受け入れ体制を整えていただくよう要請していることから、現状では必要ないと考えます。**問** 市民目線の土木行政を**答** 市発注測量業務の営業所登録業者は、法令順守出来ているか。監察と指導を強め、市内業者の受注機会拡充と技術力向上を。**答** 総務部長



市民病院「産婦人科待合室」

問 国道303号歩道拡張は、沿線の声を聞き、未計画区間の路肩・側溝の安全対策を。**答** 土木交通部長

これまで同様、今後も自治会を窓口として安全対策事業を進めていく方針であり、路肩・側溝安全対策についても取り組みを進めていると県から聞いています。